

令和4年度 当初予算編成

あなたもわたしも「シガリズム」[※] みんなでつくろう「健康しが」

令和4年度当初予算の一般会計総額は、約6,440億円。過去最大規模となった前年度と比べると約230億円(3.4%)の減額、過去2番目の規模の予算編成となりました。

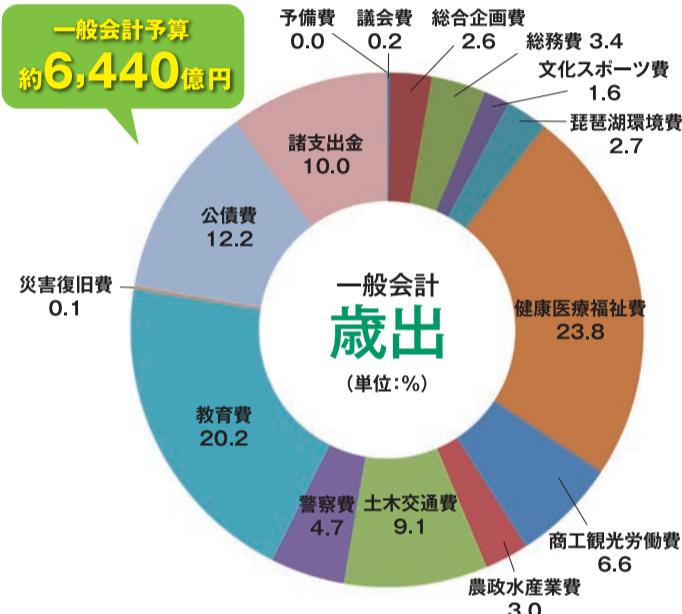
新型コロナ対策関連の予算としては、医療提供体制の充実・強化するための事業が増額となった一方で、中小企業振興資金貸付金は減額、また、通常分の予算としては、看護・介護・障害福祉などの現場で働く方々の収入の引上げ、CO₂ネットゼロ推進費、びわ湖ホール施設整備費等が増額となつた一方で、国スポーツ大会関係施設整備は減額としています。

現在が大きな転換期にあるとの認識の下、基本構想に掲げる「未来へと幸せが続く滋賀」の実現に向けて「滋賀らしく歩んでいける一年」にしていきたい、という考え方で予算が編成されました。

一方で、令和4年度当初予算案の段階での財源不足額は196億円となり、昨年度の当初予算の不足額と比較して76億円増加し、さらに厳しい財政状況となっています。

※シガリズムとは?

琵琶湖を真ん中に自然の四季を大切に味わい、みんな仲良く支えあって生きること、人間だけでなくすべての生きものを慈しむこと、今を生きる世代だけでなく、未来の世代のことを考えること。こういった滋賀のリズムに、三方良しなどの先人の教えに息づく滋賀のイズムを加えた意味を持つ。



新型コロナウイルス感染症 対策について

A 感染者数の高止まりが続き、厳しい状況が続いていると危惧するが、困窮者支援をどうしていくのか、さらに不安定雇用の方などどのように把握し、対応しようとしているのか伺う。

Q 「まん延防止等重点措置」は、飲食店等への営業時間の短縮の要請など私権の制約を伴うものであり、慎重に判断すべきものと考えている。また、これまでの経験も踏まえ、医療提供体制等のひつ迫状況を重視して対応してきており、直近のシミュレーションでも、厳しい状況ではあるものの、医療提供体制を維持することが可能であると見込まれることから、必要以上に社会経済文化活動を止めないためにも、現時点では、まん延防止等重点措置を要請しないと判断している。

Q 「まん延防止等重点措置」は、飲食店等への営業時間の短縮の要請など私権の制約を伴うものであり、慎重に判断すべきものと考えている。また、これまでの経験も踏まえ、医療提供体制等のひつ迫状況を重視して対応してきており、直近のシミュレーションでも、厳しい状況ではあるものの、医療提供体制を維持することが可能であると見込まれることから、必要以上に社会経済文化活動を止めないためにも、現時点では、まん延防止等重点措置を要請しないと判断している。

徳永久志衆議院議員、斎藤アレックス衆議院議員、田島一成衆議院議員とチームしが県議団で意見交換

長引くコロナ禍やウクライナ侵攻に関する原油高、物価高など、生活者の負担が大きくなる中、子どもの貧困への対応、トリガーラインの解除による地方自治体の税収減への対応、地域経済対策や、温暖化対策について意見交換しました。



令和4年度予算では、新型コロナウイルス感染症に関し、これまでの経験を活かして、滋賀らしく、より賢明に対応しつつ「子ども」を中心に据えて施策を展開し、その上で、「健康しが」(ひとの健康、社会の健康、自然の健康)の再構築を進めていきます。

また、これらを貫くテーマとして「ひとづくり」を最も重視し、「DXの推進」「より良き自治の追求」にも力を入れていきます。

主な事業

■ 新型コロナウイルス感染症対策

医療提供体制の充実・確保	393億5730万円
学びの機会の確保	4億1780万円
経済・雇用・生活支援	304億410万円

■ ひとづくり

「令和の時代の滋賀の高専」設置事業	5790万円
滋賀の産業を担う人づくりの推進	8540万円

■ ひとの健康(子ども・次世代、こころの健康)

子どもが生まれる前からの切れ目のない子育て支援	1億9410万円
困難を抱える子ども・若者への支援	2億7280万円
個別最適な学びの推進	2220万円
しがの魅力ある「公園」づくり	1億2900万円
文化やスポーツを通じた元気づくり	1300万円
「彦根城」世界遺産登録推進事業・新しいマラソン大会の開催	14億5840万円

■ 社会の健康(活力ある滋賀づくり)

コロナ禍を経た新たな時代に対応する滋賀らしいツーリズム「シガリズム」の推進	3億9920万円
・シガリズムのコンテンツの創出・PR等・ビワイチのブランド力アップの加速化	6億7800万円
地域公共交通の維持・強化	
・「滋賀交通ビジョン」見直しに向けた調査検討	
・地域特性に応じた交通ネットワーク構築事業	

■ 自然の健康(グリーン社会への挑戦)

CO ₂ ネットゼロ社会の実現に向けた挑戦	64億3280万円
・滋賀県CO ₂ ネットゼロ社会づくり推進基金の造成	
・資源の地域内循環による地域の活性化	
第72回全国植樹祭開催(6月5日(日))事業	5億2160万円
「やまの健康」推進プロジェクト	37億7800万円
・森林の適正管理・農山村の活性化・林業の成長産業化	

■ 「より良き自治」の追求、DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進

図書館を生かしたまちづくり	1670万円
滋賀県DX推進支援事業	920万円

新年度予算について

Q 新年度予算のタイトルの「シガリズム」はまだ認知度が低いと思われるが、「シガリズム」の意味するところ、新年度予算のタイトルに込めた思い、「シガリズム」が新年度予算にどのように落とし込まれているのか、また、令和4年度当初予算に込めた決意を伺う。

A 知事 「シガリズム」とは、ゆっくり、ていねいな暮らし、自然と人とのちょうどよいリズムという「滋賀のリズム」と、利他のところ、三方よし、おかげさま・おたがいさま・誠信の交わりといった先人の教えに息づく「滋賀のイズム」を組み合わせた生き方や暮らし方を表現したもの。

「健康しが」を目指す上で、負担や制約を感じながら過ごすのではなく、この「シガリズム」に基づく生き方や暮らし方を楽しく、滋賀らしく実践することで、「人の健康」、「社会・経済の健康」、「自然の健康」を達成していく、こうという思いで、新年度予算のタイトルとした。

この「シガリズム」の視点を大切に、新年度予算において、「人の健康」では、新たに子ども若者基金を設置し、子ども・次世代のための政策を進め、「この健康」をより高めるため、「魅力ある公園づくり」などに取り組んでいきたい。

また、「社会・経済の健康」では、県内外の人々が楽しくつながるデジタルプラットフォームを活用した関係人口の拡大に取り組み、「自然の健康」では、自然だけでなく地域や経済、将来世代のことも考慮した「CO₂ネットゼロ社会」づくりを進めるため、基金を造成し、重点的に取組んでいく。

Q いな暮らし、自然と人とのちょうどよいリズムという「滋賀のリズム」と、利他のところ、三方よし、おかげさま・おたがいさま・誠信の交わりとした先人の教えに息づく「滋賀のイズム」に基づく生き方や暮らし方を楽しく、滋賀らしく実践することで、「人の健康」、「社会・経済の健康」、「自然の健康」を達成していく、こうという思いで、新年度予算のタイトルとした。

この「シガリズム」の視点を大切に、新年度予算において、「人の健康」では、新たに子ども若者基金を設置し、子ども・次世代のための政策を進め、「この健康」をより高めるため、「魅力ある公園づくり」などに取り組んでいきたい。

また、「社会・経済の健康」では、県内外の人々が楽しくつながるデジタルプラットフォームを活用した関係人口の拡大に取り組み、「自然の健康」では、自然だけでなく地域や経済、将来世代のことも考慮した「CO₂ネットゼロ社会」づくりを進めるため、基金を造成し、重点的に取組んでいく。

A 知事 「シガリズム」とは、ゆっくり、ていねいな暮らし、自然と人とのちょうどよいリズムという「滋賀のリズム」と、利他のところ、三方よし、おかげさま・おたがいさま・誠信の交わりとした先人の教えに息づく「滋賀のイズム」に基づく生き方や暮らし方を楽しく、滋賀らしく実践することで、「人の健康」、「社会・経済の健康」、「自然の健康」を達成していく、こうという思いで、新年度予算のタイトルとした。

この「シガリズム」の視点を大切に、新年度予算において、「人の健康」では、新たに子ども若者基金を設置し、子ども・次世代のための政策を進め、「この健康」をより高めるため、「魅力ある公園づくり」などに取り組んでいきたい。

また、「社会・経済の健康」では、自然だけでなく地域や経済、将来世代のことも考慮した「CO₂ネットゼロ社会」づくりを進めるため、基金を造成し、重点的に取組んでいく。

Q いな暮らし、自然と人とのちょうどよいリズムという「滋賀のリズム」と、利他のところ、三方よし、おかげさま・おたがいさま・誠信の交わりとした先人の教えに息づく「滋賀のイズム」に基づく生き方や暮らし方を楽しく、滋賀らしく実践することで、「人の健康」、「社会・経済の健康」、「自然の健康」を達成していく、こうという思いで、新年度予算のタイトルとした。

この「シガリズム」の視点を大切に、新年度予算において、「人の健康」では、新たに子ども若者基金を設置し、子ども・次世代のための政策を進め、「この健康」をより高めるため、「魅力ある公園づくり」などに取り組んでいきたい。

また、「社会・経済の健康」では、自然だけでなく地域や経済、将来世代のことも考慮した「CO₂ネットゼロ社会」づくりを進めるため、基金を造成し、重点的に取組んでいく。

A 知事 「シガリズム」とは、ゆっくり、ていねいな暮らし、自然と人とのちょうどよいリズムという「滋賀のリズム」と、利他のところ、三方よし、おかげさま・おたがいさま・誠信の交わりとした先人の教えに息づく「滋賀のイズム」に基づく生き方や暮らし方を楽しく、滋賀らしく実践することで、「人の健康」、「社会・経済の健康」、「自然の健康」を達成していく、こうという思いで、新年度予算のタイトルとした。

この「シガリズム」の視点を大切に、新年度予算において、「人の健康」では、新たに子ども若者基金を設置し、子ども・次世代のための政策を進め、「この健康」をより高めるため、「魅力ある公園づくり」などに取り組んでいきたい。

また、「社会・経済の健康」では、自然だけでなく地域や経済、将来世代のことも考慮した「CO₂ネットゼロ社会」づくりを進めるため、基金を造成し、重点的に取組んでいく。

Q いな暮らし、自然と人とのちょうどよいリズムという「滋賀のリズム」と、利他のところ、三方よし、おかげさま・おたがいさま・誠信の交わりとした先人の教えに息づく「滋賀のイズム」に基づく生き方や暮らし方を楽しく、滋賀らしく実践することで、「人の健康」、「社会・経済の健康」、「自然の健康」を達成していく、こうという思いで、新年度予算のタイトルとした。

この「シガリズム」の視点を大切に、新年度予算において、「人の健康」では、新たに子ども若者基金を設置し、子ども・次世代のための政策を進め、「この健康」をより高めるため、「魅力ある公園づくり」などに取り組んでいきたい。

また、「社会・経済の健康」では、自然だけでなく地域や経済、将来世代のことも考慮した「CO₂ネットゼロ社会」づくりを進めるため、基金を造成し、重点的に取組んでいく。

A 知事 「シガリズム」とは、ゆっくり、ていねいな暮らし、自然と人とのちょうどよいリズムという「滋賀のリズム」と、利他のところ、三方よし、おかげさま・おたがいさま・誠信の交わりとした先人の教えに息づく「滋賀のイズム」に基づく生き方や暮らし方を楽しく、滋賀らしく実践することで、「人の健康」、「社会・経済の健康」、「自然の健康」を達成していく、こうという思いで、新年度予算のタイトルとした。

この「シガリズム」の視点を大切に、新年度予算において、「人の健康」では、新たに子ども若者基金を設置し、子ども・次世代のための政策を進め、「この健康」をより高めるため、「魅力ある公園づくり」などに取り組んでいきたい。

また、「社会・経済の健康」では、自然だけでなく地域や経済、将来世代のことも考慮した「CO₂ネットゼロ社会」づくりを進めるため、基金を造成し、重点的に取組んでいく。

Q いな暮らし、自然と人とのちょうどよいリズムという「滋賀のリズム」と、利他のところ、三方よし、おかげさま・おたがいさま・誠信の交わりとした先人の教えに息づく「滋賀のイズム」に基づく生き方や暮らし方を楽しく、滋賀らしく実践することで、「人の健康」、「社会・経済の健康」、「自然の健康」を達成していく、こうという思いで、新年度予算のタイトルとした。

この「シガリズム」の視点を大切に、新年度予算において、「人の健康」では、新たに子ども若者基金を設置し、子ども・次世代のための政策を進め、「この健康」をより高めるため、「魅力ある公園づくり」などに取り組んでいきたい。

また、「社会・経済の健康」では、自然だけでなく地域や経済、将来世代のことも考慮した「CO₂ネットゼロ社会」づくりを進めるため、基金を造成し、重点的に取組んでいく。

A 知事 「シガリズム」とは、ゆっくり、ていねいな暮らし、自然と人とのちょうどよいリズムという「滋賀のリズム」と、利他のところ、三方よし、おかげさま・おたがいさま・誠信の交わりとした先人の教えに息づく「滋賀のイズム」に基づく生き方や暮らし方を楽しく、滋賀らしく実践することで、「人の健康」、「社会・経済の健康」、「自然の健康」を達成していく、こうという思いで、新年度予算のタイトルとした。

この「シガリズム」の視点を大切に、新年度予算において、「人の健康」では、新たに子ども若者基金を設置し、子ども・次世代のための政策を進め、「この健康」をより高めるため、「魅力ある公園づくり」などに取り組んでいきたい。

また、「社会・経済の健康」では、自然だけでなく地域や経済、将来世代のことも考慮した「CO₂ネットゼロ社会」づくりを進めるため、基金を造成し、重点的に取組んでいく。

Q いな暮らし、自然と人とのちょうどよいリズムという「滋賀のリズム」と、利他のところ、三方よし、おかげさま・おたがいさま・誠信の交わりとした先人の教えに息づく「滋賀のイズム」に基づく生き方や暮らし方を楽しく、滋賀らしく実践することで、「人の健康」、「社会・経済の健康」、「自然の健康」を達成していく、こうという思いで、新年度予算のタイトルとした。

この「シガリズム」の視点を大切に、新年度予算において、「人の健康」では、新たに子ども若者基金を設置し、子ども・次世代のための政策を進め、「この健康」をより高めるため、「魅力ある公園づくり」などに取り組んでいきたい。

また、「社会・経済の健康」では、自然だけでなく地域や経済、将来世代のことも考慮した「CO₂ネットゼロ社会」づくりを進めるため、基金を造成し、重点的に取組んでいく。

A 知事 「シガリズム」とは、ゆっくり、ていねいな暮らし、自然と人とのちょうどよいリズムという「滋賀のリズム」と、利他のところ、三方よし、おかげさま・おたがいさま・誠信の交わりとした先人の教えに息づく「滋賀のイズム」に基づく生き方や暮らし方を楽しく、滋賀らしく実践することで、「人の健康」、「社会・経済の健康」、「自然の健康」を達成していく、こうという思いで、新年度予算のタイトルとした。

この「シガリズム」の視点を大切に、新年度予算において、「人の健康」では、新たに子ども若者基金を設置し、子ども・次世代のための政策を進め、「この健康」をより高めるため、「魅力ある公園づくり」などに取り組んでいきたい。

また、「社会・経済の健康」では、自然だけでなく地域や経済、将来世代のことも考慮した「CO₂ネットゼロ社会」づくりを進めるため、基金を造成し、重点的に取組んでいく。

Q いな暮らし、自然と人とのちょうどよいリズムという「滋賀のリズム」と、利他のところ、三方よし、おかげさま・おたがいさま・誠信の交わりとした先人の教えに息づく「滋賀のイズム」に基づく生き方や暮らし方を楽しく、滋賀らしく実践することで、「人の健康」、「社会・経済の健康」、「自然の健康」を達成していく、こうという思いで、新年度予算のタイトルとした。

この「シガリズム」の視点を大切に、新年度予算において、「人の健康」では、新たに子ども若者基金を設置し、子ども・次世代のための政策を進め、「この健康」をより高めるため、「魅力ある公園づくり」などに取り組んでいきたい。

また、「社会・経済の健康」では、自然だけでなく地域や経済、将来世代のことも考慮した「CO₂ネットゼロ社会」づくりを進めるため、基金を造成し、重点的に取組んでいく。

A 知事 「シガリズム」とは、ゆっくり、ていねいな暮らし、自然と人とのちょうどよいリズムという「滋賀のリズム」と、利他のところ、三方よし、おかげさま・おたがいさま・誠信の交わりとした先人の教えに息づく「滋賀のイズム」に基づく生き方や暮らし方を楽しく、滋賀らしく実践することで、「人の健康」、「社会・経済の健康」、「自然の健康」を達成していく、こうという思いで、新年度予算のタイトルとした。

この「シガリズム」の視点を大切に、新年度予算において、「人の健康」では、新たに子ども若者基金を設置し、子ども・次世代のための政策を進め、「この健康」をより高めるため、「魅力ある公園づくり」などに取り組んでいきたい。

また、「社会・経済の健康」では、自然だけでなく地域や経済、将来世代のことも考慮した「CO₂ネットゼロ社会」づくりを進めるため、基金を造成し、重点的に取組んでいく。

Q いな暮らし、自然と人とのちょうどよいリズムという「滋賀のリズム」と、利他のところ、三方よし、おかげさま・おたがいさま・誠信の交わりとした先人の教えに息づく「滋賀のイズム」に基づく生き方や暮らし方を楽しく、滋賀らしく実践することで、「人の健康」、「社会・経済の健康」、「自然の健康」を達成していく、こうという思いで、新年度予算のタイトルとした。

この「シガリズム」の視点を大切に、新年度予算において、「人の健康」では、新たに子ども若者基金を設置し、子ども・次世代のための政策を進め、「この健康」をより高めるため、「魅力ある公園づくり」などに取り組んでいきたい。

また、「社会・経済の健康」では、自然だけでなく地域や経済、将来世代のことも考慮した「CO₂ネットゼロ社会」づくりを進めるため、基金を造成し、重点的に取組んでいく。

A 知事 「シガリズム」とは、ゆっくり、ていねいな暮らし、自然と人とのちょうどよいリズムという「滋賀のリズム」と、利他のところ、三方よし、おかげさま・おたがいさま・誠信の交わりとした先人の教えに息づく「滋賀のイズム」に基づく生き方や暮らし方を